

## RKBラジオスナッピー×グリッピ 舞鶴公園で歴史散歩を 楽しもう!! 特集 P1

- P9 イベント&季節の見どころ
- P11 緑のコーディネーター紹介 折井由記子さん
- P13 地域の花づくり活動団体紹介 「城花クラブ」
- P15 第17回花と緑のまちかど写真コンテスト  
受賞作品発表
- P17 緑化助成事業
- P18 福岡城さくらまつり&福博花しるべのお知らせ

舞鶴公園の  
見どころを  
レポート!





RKBラジオ  
スナッピー  
×  
グリッピ

舞鶴公園で歴史散歩を  
しもう!!

舞鶴公園で歴史散歩を

舞鶴公園は昔、「鴻臚館」や「福岡城」があった場所で、櫓など古い建物や迫力ある石垣など、歴史を感じるものがたくさんあります。RKBラジオのリポーター・スナッピーとグリッピと一緒に、歴史散歩に出かけましょう!

江戸時代に  
タイムスリップ  
してみたい!



RKBラジオのリポーター・スナッピーの末長由美さん(左)、吉野千穂さん(右)

写真はデジタル技術で復元した福岡城天守閣想像図

城造りの名人が手がけた「福岡城」

福岡城が建てられたのは今からおよそ400年前。「関ヶ原の戦い」で活躍した黒田長政は、徳川家康から「筑前国」(現在の福岡県西部)を与えられ、福岡藩の藩主になりました。城造りの名人だった父・黒田官兵衛とともに、7年かけて完成させたのが「福岡城」です。福岡城ができる前の戦国時代、全国にはたくさんの城ができ、城造りの技術はグンとあがりました。当時の

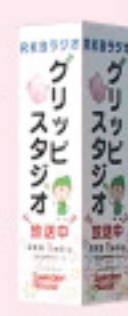
最高技術でつくられた城のひとつが福岡城で、全国でもかなり規模が大きく立派な城だったようです。残念ながら、福岡城の天守閣は残っていません。福岡藩は徳川家康に逆らう意志がないことを示すため、あえて立派な城にせず、「最初から造らなかった」と、長い間考えられてきました。ところが最近「一度建てた後に壊した」という資料が見つかり、天守閣があったかどうかについては、今もさまざまな意見があります。



12年ぶりの再会!  
スナッピー♡グリッピ



RKBスナッピーとグリッピの出会いは、平成17年に開催された花と緑の祭典「アイランド花どんたく」(全国都市緑化ふくおかフェア)にさかのぼります。福岡の花と緑のキャラクター「グリッピ」はこのときに誕生。会場にはRKBラジオ「グリッピスタジオ」が設けられ、当時のスナッピーの皆さんが、花と緑の祭典の様子を生放送してくれました。



RKBラジオ  
スナッピーレポート  
「舞鶴公園の魅力」  
を生放送中!



今回スナッピーのお二人が舞鶴公園の歴史や自然の魅力や元気にレポートしてくれました。(平成29年1月18日に生放送されました。)



福岡城って、どんなお城だったの?

一番低い「三の丸」から「二の丸」、「本丸」、「天守台」と、段々高くなっていく造りだったの。お城の中には敵の攻撃に備えて、こんなものがあったそうよ。



櫓

石垣などの上に立てる建物で、敵を攻撃するときなどに使った。武器を保管したり、敵の様子をうかがうのにも役立った。



城門



城の門は敵が攻め込んでくるのを防ぐ役割もあった。「三の丸」から一段高い「二の丸」へは、4つの門があって、それぞれに門番がいた。



昔の地図を見ると、今とずいぶん様子が違うね。お城の周りの湖みたいなものは何?

これは今の「大濠公園」で、このあたりは昔「草香江」と呼ばれる入江だったの。お城を囲んでいるのは「お堀」で、敵が簡単に攻めてこられないようにするためのもの。福岡城は自然の地形を上手に利用して、お堀を作ったのよ。



九州大学附属図書館付設記録資料館所蔵



舞鶴公園の歴史をもっと知りたい!

**福岡城むかし探訪館**

古地図や模型、パッチャルムービーを通して福岡城のことがよく分かります。

電話/092-732-4801

◎開館時間 9時~17時(夏期(7~8月)は19時まで)  
※茶房は10時30分~16時

◎休館日 年末年始(12月29日~1月3日)

◎入館料 無料

**毎日出発!**

**鴻臚館・福岡城 パーチャル時空散歩ガイドツアー**

タブレットを手に、ボランティアガイドの案内で史跡を巡ります。端末をかざすと、パーチャルタイムトリップが楽しめます。

要事前予約

- 開催時間/10時30分~12時30分
- 料金/1人500円
- ※詳しくは福岡城むかし探訪館まで

**ストリートミュージアム**

石垣だけ残っているところでスマホなどをかざすと当時の姿が再現され、散策しながら楽しめます。

自分のスマホやタブレットで楽しむ

無料アプリ

# じっくり見てみよう 福岡城の魅力は石垣!

なんといっても

福岡藩には野口一成という石垣造りの名人がいて、完成した石垣がすばらしいと評判になったそうです。材料には以前から福岡にあった名島城の石垣や元寇防壁の石なども使われたといわれています。総延長約3キロ、高さは10メートルを超えるところもあるなど、今も見事な石積みを見ることができます。



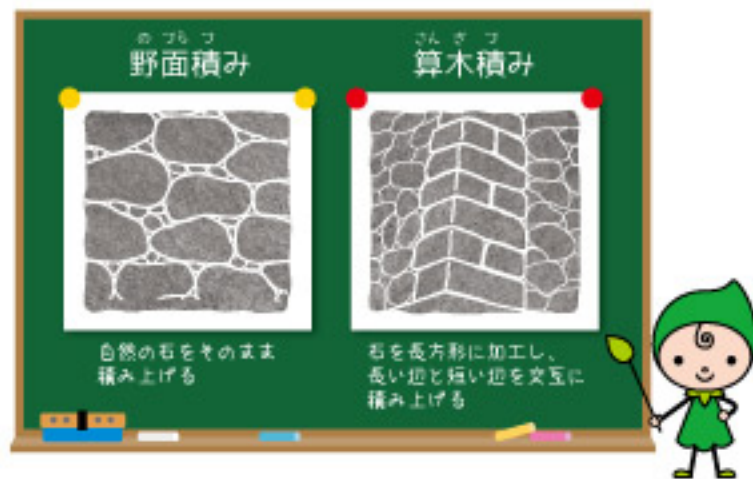
平成17年の福岡県西方沖地震により崩壊の危険があるとされた上之橋御門石垣。平成26年、解体修理が行われた。

こんな大きな鏡石も知る人ぞ知る長さ約10メートルの石垣

## 石垣の積み方あれこれ

ひとくちに石垣といってもさまざまな積み方があります。福岡城の場合、天守台のあたりは自然の石をほぼそのまま使っていますが、三の丸など外側に向かうにつれ形を整えた石が隙間なく積み重ねられているのです。

この変化は、城が完成するまでの7年間で、石積みの技術が上がっていったということでしょう。これにより、城は中心部から建てられたことも分かります。



## 日本初の発見、地震に強い石垣

平成25年、舞鶴公園内の上之橋御門石垣を解体した際に、日本で初めて、石垣の中に地震の揺れを和らげる工夫があると分かりました。

通常石垣を造るときは、大きな石の後ろに「裏込石」と呼ばれる直径10～20センチほどの石を詰め、雨水がたまらないようにします。平成25年の調査では、この裏込石とは別に、石垣の表面と直角方向に直径40～50センチほどの大きな石を並べた「石列」が発見されたのです。これが、地震の揺れを和らげる役目を果たしていたと考えられ、地震に負けない城造りに挑戦した様子がうかがえます。



点線で囲った部分が「石列」

## 刻印は何のメッセージ?

石垣を注意深く見てみると、「卍」や「十」などの刻印があることに気が付きます。石を提供した人や石垣を造った人を記録するためなど、いろいろな説がありますが、その目的ははっきり分かっていないのです。これはまた、全国各地の城にも見られます。印を探しながら歩くのも楽しみ方の一つですね。



下之橋御門の脇にある「卍」の刻印

## 週末だけ開く謎の扉…

明治通りの赤坂西交差点付近には、週末だけ開く扉があります。地下へ続く階段を降りてみると…、そこにあるのはなんと石垣! 福岡市営地下鉄工事の際に発見され、その一部が保存・公開されているのです。

ここは今残っている堀の向かい側、北側の壁になります。江戸時代の堀は明治通りの真ん中あたりまであったということです。

- 公開日時: 毎週土・日曜日 10時～17時 (12月29日～1月3日を除く)
- 場所: 福岡市中央区城内1-1 (赤坂西交差点近く。明治通り歩道に入口があります)



知る人ぞ知る長さ約10メートルの石垣

明治通り沿いの歩道にある入口



ここから入ってね!

皆さん気づいていましたか?  
こんなところに「福岡城」!

アジアのリーダー都市へ  
**FUKUOKA NEXT**

福岡市がアジアのリーダーを目指す活動のロゴマーク「FUKUOKA NEXT」。この部分は福岡城跡の「伝・潮見櫓」と「下之橋御門」です。福岡タワーやドームと並び、福岡の新旧シンボルがモチーフになっているんですね。

## 福岡みんなの城基金

福岡市では福岡城を保存、活用するため、整備や復元に取り組んでいく計画です。そこで「福岡城整備基金」を設け、皆さんに寄付を呼びかけています。福岡城の再建に、ぜひご参加ください。

問い合わせ/福岡市経済観光文化局  
大規模史跡整備推進課  
☎092-711-4784

寄付の金額に応じて、  
記念品を差し上げます!



## 舞鶴公園の歴史をもっと知りたい!

### 福岡城・鴻臚館案内処 三の丸スクエア

旧舞鶴中学校跡地を利用し、鴻臚館の時代から福岡城の歴史、将来の「セントラルパーク構想」までを紹介。事前にここで学んでおくと、舞鶴公園での散策がより楽しくなりそうですね。また、甘味どころもあるので、ゆっくりした時間が過ごせます。

- 電話/092-720-7510 ● 開館時間 9時～17時  
※如水庵は10時～17時 ※イベントの際などは時間変更する場合があります  
● 休館日 年末年始(12月29日～1月3日) ● 入館料 無料



# 古代の迎賓館 大陸へ開かれた鴻臚館

次に紹介するのは舞鶴公園のもう一つのシンボル、「鴻臚館」。飛鳥時代から平安時代にかけて外国の使節団や商人をもてなした古代の迎賓館です。



遺跡を覆うように建てられた鴻臚館跡展示館。建物の土台となる礎石などを間近に見ることができる。

日本で唯一  
**場所が特定された鴻臚館は、福岡だけ**

鴻臚館は平安時代に作られた外交と貿易のための施設です。平安京(京都)、難波(大阪)、福岡の3か所に建てられましたが、遺跡が見つかり場所が特定されたのは、福岡だけです。

大陸に最も近い都市だった福岡は、昔から多くの人や物が行き交うアジアの玄関口でした。鴻臚館は7世紀後半から11世紀前半の約400年に渡り、外交と文化交流の拠点として重要な役割を果たしたのです。

鴻臚館は昭和62年、舞鶴公園内の平和台野球場(当時)を改修工事した際に遺跡が見つかり、平成16年には国の史跡に指定されています。



鴻臚館建物想像復元イメージ(東から)  
(奈良時代後期～平安時代前期)

## 外交使節も使った? 古代のトイレ

鴻臚館跡からはこれまでの調査で中国や朝鮮半島の陶磁器、西アジアのガラス容器やイスラム陶器などが発掘され、ここが世界との交易拠点だったことがうかがえます。変わり種といえば、外交使節も使ったとされる古代のトイレ。奈良時代前半のもので、トイレットペーパー代わりに使った木片も見つかっています。



トイレットペーパーとして使われていた細い棒(露木)

## 舞鶴公園の歴史をもっと知りたい!

### 鴻臚館跡展示館

鴻臚館の跡を発見したときのままの姿で公開しています。中国や朝鮮半島、西アジアなど、国際色豊かな出土品を展示。平安時代の迎賓館としてにぎわった鴻臚館のスケールの大きさが感じられます。

電話/092-721-0282

◎開館時間 9時～17時(入館は16時半まで)

◎休館日 年末年始(12月29日～1月3日) ◎入館料 無料



舞鶴公園は  
全国でも  
めずらしい

### 二重史跡

鴻臚館があった場所は福岡城跡三の丸に当たり、昭和32(1957)年に国史跡の指定を受けていました。それに続き鴻臚館跡も平成16(2004)年に国史跡となりました。舞鶴公園のように一つの場所が二重の史跡に指定されるのは、全国でもめずらしいそうです。

# 歴史を見つめた舞鶴公園の みどり

みどりのことならグリッピーにお任せ!  
舞鶴公園にまつわるみどりの話を紹介するよ。ここは桜の名所として知られているけど、福岡城ができたころはどんな姿だったのかな?



## 江戸時代の人たちも花見を楽しんだ?

江戸時代の絵図を見ても、福岡城に樹木はほとんどありません。そもそも戦うことを想定して作られた城には、見通しを悪くする木などは植えないのが普通でした。ただし、城の周囲を囲む土壁にはマツが見られます。

マツは大変役立つ木でした。火による明かりを「松明」と言うように、松やにを含む良質の燃料であり、皮の内側にある薄皮は非常食としても活躍しました。また、どこの城でも梅干し用に梅を植えるなど、いざというときに役立つものが植えられていたようです。



江戸時代初めころの福岡城を描いた絵図  
(正保3(1646)年作成)  
福岡市立博物館所蔵

## 桜はいつごろ植えられたの?

現在、舞鶴公園は桜の名所として知られていますが、舞鶴公園に限らず、全国の城跡に桜が植えられるようになったのは明治に入ってから。明治時代の福岡城は県庁として使われた後、陸軍の施設となり、このころから樹木が増えていったようです。また、第二次世界大戦後は平和台陸上競技場など、公園としての整備が進められ、昭和30～40年代には当時「公園樹」として人気のあったイチヨウやメタセコイアなどが植えられています。

一方、城跡南側の古木は、福岡城があったころからのものと言われます。南側にはもともと赤坂山や大休山があり、そこから伸びる丘陵地を削って城を造った歴史があります。このあたりには江戸時代中・後半期ごろからのものとみられるグスの巨木があり、エノキやムクノキなどの大木と共にうっそうとした森をつくっています。

今の舞鶴公園とはまったく違う!



歴史を見つめてきた  
古木は迫力満点!



城跡南側に残る古木

## 世界で初めて! 舞鶴公園で発見された

### 県指定天然記念物 ツクシオオガヤツリ

カヤツリグサ科の多年草で、絶滅のおそれがあるといわれる、めずらしい植物です。マレーシア、インド地方など熱帯・亜熱帯原産で、国内では数県でしか生息が確認されていません。福岡城の堀で最初に発見されたため、「筑紫」の名が付き、高さ1.5メートルと大型になるため「ツクシオオガヤツリ」と呼ばれています。



今回、舞鶴公園を案内してくれたのは、RKBラジオのリポーター、スナッピーのお二人。県内各地から毎日生放送でさまざまな話題を届けています。



### 舞鶴公園のお気に入り

あの、あの  
吉野千穂さん

私の好きな楽しみ方は、桜が満開の時期にお花見することです!

すえなご、ゆめ  
末長由美さん

ひろーい公園が大好き!ピクニックできたり、走り回ることができるので、気持ちがいいです!



【協力】RKBラジオ、福岡市大規模史跡整備推進課福岡城跡整備係  
【資料提供】九州大学附属図書館付設記録資料館九州文化史資料部門、福岡市博物館、福岡総合印刷株式会社

地下鉄大濠公園駅

舞鶴公園を歩いてみよう!

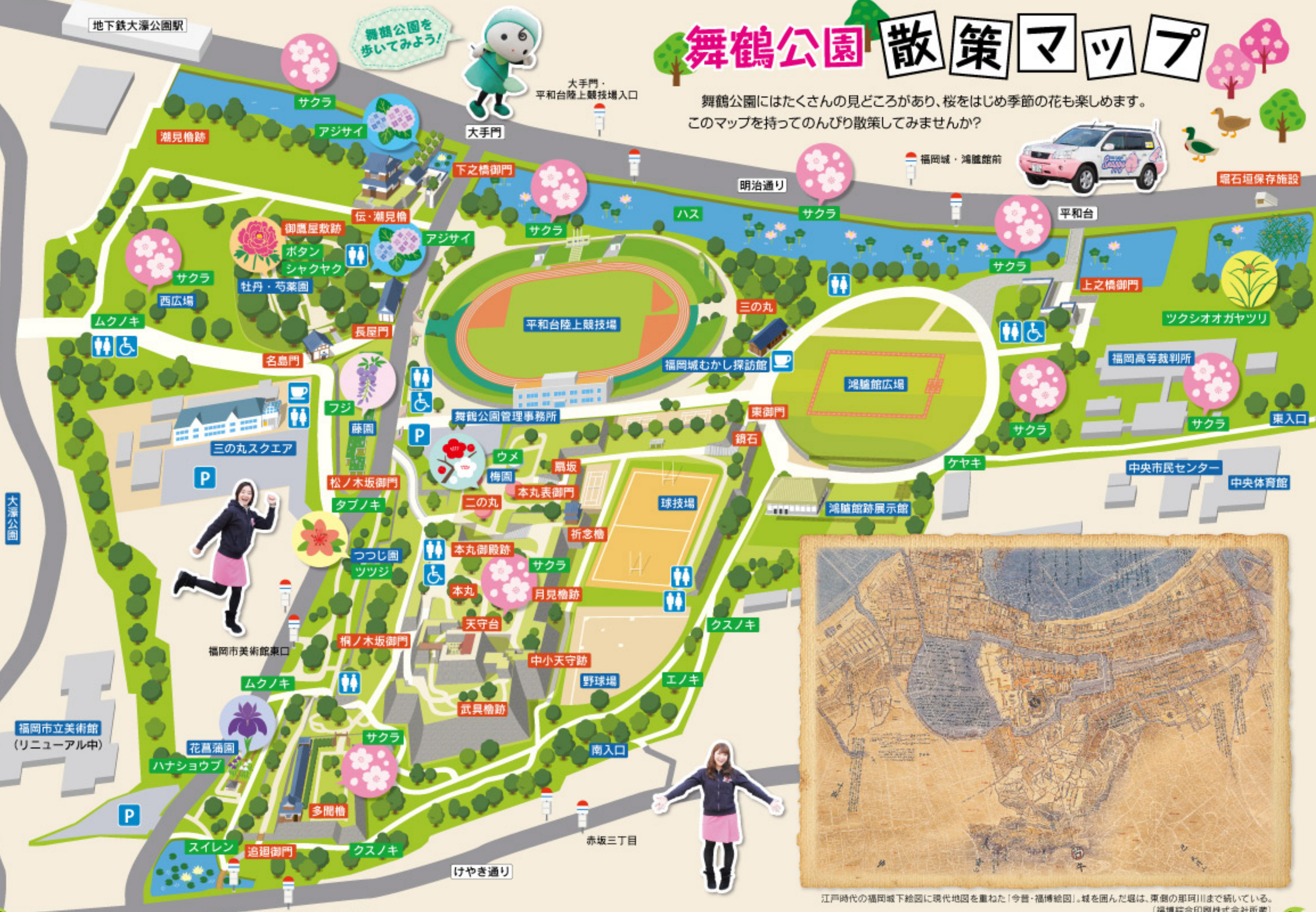


# 舞鶴公園 散策マップ

舞鶴公園にはたくさんのお見どころがあり、桜をはじめ季節の花も楽しめます。  
このマップを持ってのんびり散策してみませんか?



蝦石垣保存施設



江戸時代の福岡城下絵図に現代地図を重ねた「今昔・福博絵図」。城を囲んだ堀は、東側の那珂川まで続いている。  
(福博総合印刷株式会社所蔵)

# イベント&季節の見どころ

## イベント

3月

### 福岡城さくらまつり 25日~4月3日

1000本の桜が咲き誇る舞鶴公園。さくらまつり期間中は、夜桜がライトアップされ、昼夜問わずお花見を楽しめます。



4月

### 福岡城藤棚休憩所 下旬

フジの開花に合わせて、藤園でほうじ茶カフェなどを開きます。フジの花が咲く大きな藤棚の下でゆっくりとおくつろぎいただけます。



5月

### 福岡国際女子テニス大会 6日~14日

九州テニス協会主催で毎年開催される大会です。各国を代表する女子プレーヤーが一堂に会し、熱い戦いを繰り広げます。白熱のプレーを、ぜひ見に来てください。

平成28年(2016年) シングルス 優勝:リキーナ・フセニア 準優勝:岡村苺香

## 舞鶴&東平尾公園

## 季節の見どころ

3~4月



### サクラ(舞鶴)

舞鶴公園には、約20種類の桜が植えられています。一番本数の多いソメイヨシノは4月初めで咲き終わりますが、4月中旬くらいまで、さまざまな桜の花の開花リレーが楽しめます。

4~5月



### ポタン(舞鶴)

官兵衛ゆかりの御鷹屋敷跡は「牡丹・芍薬園」として整備され、4月から5月にかけてポタンとシャクヤクの花が咲き続けます。開花期間中は撮影や鑑賞を目的に、多くの人々が訪れます。



### フジ(舞鶴)

約1300㎡の藤棚を持つ藤園は、道路沿いとは思えないほど静かな空間です。大きな藤棚から垂れ下がるフジの花を、ベンチに座ってゆっくりと鑑賞できます。

5月



### シャクヤク(舞鶴)

牡丹・芍薬園では、ポタンの花のピークが過ぎるころにシャクヤクが咲き始めます。開花期が近づくと、少し高い位置から花を楽しむ花見台が設置されます。



### ツツジ(舞鶴)

つつじ園のほか、お濠端でもツツジを楽しめます。ポリウレームのある大きなツツジの花が一斉に咲くと、あたりの風景が一変するようです。

舞鶴公園、東平尾公園では楽しいイベントが盛りだくさん。季節の移り変わりが感じられる、旬の見どころもいっぱい입니다。ぜひ、おでかけください! イベントは天候などにより変更や中止になる場合がありますので、予めご確認ください。

8月

### 西日本大濠花火大会 1日

福岡の夏の風物詩としておなじみの西日本大濠花火大会は、大濠公園を舞台に開催されます。舞鶴公園から鑑賞する人も多く、平和台陸上競技場には有料観覧席が設置されます。



### ニュージーランド・オークランド州代表親善試合 5日

福岡市との姉妹都市締結30周年を記念して、ニュージーランド・オークランド市の代表チームと福岡の代表チームによるラグビー親善試合が行われます。



5~6月



### ハナショウブ(舞鶴)

蒸し暑さを感じ始めるころ、花高菖圃にある約2300株のハナショウブが咲き始めます。初夏の日差しを受け、まぶしいほどの美しさです。



### ハナショウブ(東平尾)

レベルファイブスタジアムの裏にある調整池では、毎年綺麗なハナショウブが咲き、白と紫のコントラストを楽しめます。

5~10月



### スイレン(舞鶴)

ゴールデンウィークのころ、舞鶴公園に6か所あるお濠のうち2か所でスイレンの花が咲き始めます。約半年間という長い期間、水面を彩り、たくさんの人の目を楽しませてくれます。

6月



### アジサイ(舞鶴)

瀬見橋前や牡丹・芍薬園入口でアジサイを楽しめます。つぼみころ、咲き始め、そして咲き終わりまで、日々少しずつ変わりゆく花の色は、感動的な美しさです。



7~9月

### ハス(花)(舞鶴)

お濠で咲くハスの花はファンが多く、開花期間中には多くの人々が訪れます。ハスの花は、明け方咲き始めお昼前後に閉じるので、鑑賞は午前中がおススメ。また、葉が持つ「はっ水効果」(ロータス効果)により、葉にたまった水がはじかれる様子も一見の価値ありです。



8~11月

### ハス(果托)(舞鶴)

ハスの花が終わったあと、めしべの部分が果托となり茶色に熟します。お濠全体を見渡してみると、季節が進むにつれて、花よりも果托が増えていき、風景が夏から秋へと変化していく様子を楽しめます。



9月



### ヒガンバナ(舞鶴)

平和台陸上競技場スタンドやお濠端のほか、園内のおちこちでヒガンバナが咲き始めます。真っ赤なヒガンバナが咲き始めると、空気が秋らしさを帯びてくるように感じます。

緑のコーディネーターさん  
を紹介します

## 花壇づくり、市民講座、コンテスト出品と パワフルに活躍!

緑のコーディネーター

おりいゆさこ  
折井 由記子さん(4期生)

今回は福岡市立原北小学校(早良区)の花壇の手入れをはじめ、市民講座の講師、花壇コンテストへの参加、スポンサー花壇のデザインなど、幅広い分野で活動する折井由記子さんを紹介します。

### 活動の中心に据えているのは 地域の花壇づくり

もともと花やみどりが好きで、フラワーアレンジメント講師の資格を持つ折井さん。福岡市へ転入した際に緑のコーディネーターの制度を知り、養成講座を受講。また子育てが一段落したためフラワーアレンジメントの仕事も始めるなど、新天地での生活は花とみどりの活動で忙しい日々となりました。

養成講座を受けた後、4期生の仲間と立ち上げたのが「原北花道隊」。折井さんはメンバーを引っ張るリーダーです。原北小学校周辺の花壇をのぞいてみると、ほかではあまり見かけない季節の花で彩られていて、地域の皆さんから花の名前を尋ねられることも多いとか。めずらしい花は会話のきっかけになり、「原北花道隊」の個性を打ち出すのにも一役買っているようです。また、花壇コンテストにも仲間たちと積極的に参加。多数の受賞歴があります。

緑のコーディネーターとして多方面で活躍している折井さんですが、活動の中心に据えているのは地域の花壇づくり。その理由は「これが一番の地域貢献だと思うから」。市民講座の講師など活動の場を広げても、ここをおろそかにしないのが、折井さんのモットーです。

さらに「スポンサー花壇」のデザインにも挑戦。花壇の設計図の書き方など、学んだことは「原北花道隊」の活動にしっかりと生かされています。



フラワーアレンジメントの知識を生かして考えた花壇の配色  
(原北小学校)



土を作り、花に触れることを大切にしている折井さん



「グリップキャンペーン」や「福博花しるべ」など、花壇コンテストにも積極的に参加

原北花道隊のメンバー



少数精鋭でチームワーク抜群!

折井さんは行動力がある頼れるリーダーです!



設計図を何度も書き直すなど、植えるまでが大変だった天神交差点のスポンサー花壇(天神ビル前)

### いいものを提供するためには 手間をかける

折井さんはフラワーアレンジメント講師の資格を生かし、市民講座などの講師としても活躍。子どもから大人までを対象に、フラワーアレンジメント、多肉植物の寄せ植え、正月飾りづくりなど、内容は多彩です。

「やるからにはいいものを提供したい。そのためには手間をかけるしかない」と折井さん。容器代が少しでも安くなればいい花材が使えるからと、100円ショップを何軒も回ったり、インターネットを利用するなど、材料集めに妥協はありません。

エネルギーに活動するパワーの源を尋ねると、「何より人と関わることが好きだから」と折井さん。「今後は手頃な金額で花とみどりにふれあえる公民館や留守家庭子ども会の児童を対象にした講座をもっと定着させたい。私たち緑のコーディネーターをどんどん活用してください!と、輝く笑顔で目標を語ってくれました。



正月花のフラワーアレンジメント



コルクボードに花などをあしらったメッセージフレームづくり



仲間にも聞きました!

講座は準備から当日まで出来さん(写真右)がサポート。「応援があるから開催できる」と折井さん

緑のコーディネーター(7期生)原北花道隊  
出来 智子さん



私が緑のコーディネーターになったのは、折井さんの講座を受講したのがきっかけ。作品の試作、材料の仕入れ、当日の進行など、折井さんはすべてを自分でこなしていますが、手伝うことで私も勉強になります。どんなときも笑顔でくじけず、妥協しないところが素晴らしい!

小田部公民館長  
下田 則子さん



右から下田さん、松永さん

毎年恒例のフラワーアレンジメント講座は、開催を心待ちにする人がいっぱい。また、みどりのアドバイザーとして、公民館や地域の相談にも乗っていただき、頼れる存在です。

早良区自治協議会会長  
松永 マツエさん

折井さんは洋と和の組み合わせ方などセンスがよく、気さくな人柄も人気。限られた予算内で工夫していただく講座は、花をたくさん使った作品に仕上がると好評です。



「持ち帰った後も長く楽しめるように」と工夫されている作品の数々

### 平成29年度 福岡市緑のコーディネーター養成講座のご案内

※講座は隔年開講です

#### 福岡市緑のコーディネーターとは

花やみどりに関する専門的な知識をもち、福岡の緑化推進のための活動を行う人です。現在198人が、地域の花壇づくりや里山保全、みどりの講座の講師など、各自の得意分野を活かし福岡市内で活躍しています。緑のまちづくり協会は、緑のコーディネーターの活動を積極的にサポートしています。

#### 養成講座とは

福岡市内で花と緑のまちづくりの活動をするリーダーの育成を目的とした講座です。修了すると福岡市長の認定を受け、正式に「福岡市緑のコーディネーター」として活動することができます。

#### 講座の内容

月2回程度、約5か月にわたり講座を開催します。前半は、地域活動、市民活動の現状、団体立ち上げや運営のポイントなどについて座学を行い、後半はグループに分かれ市民緑化活動の企画、実践を行います。

#### 募集期間 平成29年4月1日(土)~

※応募資格や応募方法など、くわしくはホームページでご確認ください。

協会ホームページ [www.midorimachi.jp](http://www.midorimachi.jp)

緑のまちづくり協会

問い合わせ (公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課  
TEL 092-822-5832

地域に愛され、誇れる花壇づくり

# 「城浜校区花づくり委員会 城花クラブ」



城浜公園の入り口は、いつも季節の花でいっぱい。地域のシンボルです。

(花壇写真提供: 城浜公民館長 菊池 勇さん)



## 「公園に花壇を」の提案がきっかけに

福岡市東区の城浜団地に隣接する城浜公園。園内にはひときわ目をひく美しい花壇があり、心安らく空間として地域の方の好評を得ています。この花壇の整備を行っているのが「城花クラブ」です。

結成は平成20年、城浜公園の工事のために始まったワークショップがきっかけでした。より良い公園には何が必要かを住民同士で話し合う中でアイデアが上がったのが、花壇の設置。「せっかく素敵な公園ができるのだから、季節の花が楽しめる花壇が欲しいと要望しました」とリーダーの末吉さんは振り返ります。こうした働きかけにより、園内に2つの花壇ができ、末吉さんら周辺の住民で管理を行うようにしたのです。

普段は気がついた人が水やりをし、草刈りや年3回の植え替えなど大きな作業をする時はその都度メンバーで相談して集まります。ゆるやかな活動態勢でも花壇が維持できるのは、メンバーのほとんどが公園近くに住んでいる「城花クラブ」ならではの、「通りがかった時のついでに世話をすることも」と話すように、生活圏内に活動場所があることで花壇のわずかな変化にも気付きやすく、細やかな管理ができるのです。



### 枕木が特徴的な円形花壇

レンガで縁取られた、入り口の円形花壇。特徴的なのが、放射線状に敷かれた枕木です。ナチュラルな雰囲気演出するだけでなく、区画ができ花が植え分けしやすくなる、足場になって作業がしやすいなどたくさんのメリットがあるといえます。花はなるべく多年草のものを植えて、経費の節減にもつとめています。

### きれいに手入れされた浜側の花壇

さまざまな種類の花が美しく彩る浜側の花壇。海と花壇が一体となった風景は皆さんのお気に入りだとか。きれいな状態を維持することで、ゴミのポイ捨ても減りました。



町内会長同士で親しかった宮下さんと活動を始めました。普段から公園を通るときにはいつも花壇を確認し、メンバーに負担をかけないよう、水やりなどの細かい世話は率先して行うようにしています。仕事を持ちながらの活動は大変なことも多いですが、城花クラブのことは休みの日にまとめてこなす、スケジュールをメンバー間で確実に共有するなど、両立のコツをおさえてやっています。

リーダー 末吉 フミヨさん



旬を味わう料理教室「マンマのまんま」は月2回のお楽しみ。

メンバーの親睦も深まります。



作業中は笑いが絶えず和気あいあいとした雰囲気。公園を通る人々からの「いつもお疲れさまです」の言葉がやりがいにつながっています。

## 地域、メンバーを巻き込みながら活動を続けたい

結成から8年がたち、メンバー同士の結びつきも強くなっています。一昨年から「城花クラブ」のメンバーで料理教室「マンマのまんま」をスタート。月2回、季節感ある献立を考えて調理し、会食を楽しんでいます。

また、道具や苗の置き場所を提供してもらっている公民館との関わりも深くなりました。公民館長の菊池さんは季節ごとに変わる花壇の様子を写真におさめ、館内で紹介。訪れる住民に広くアピールしています。活動を見守っていた公民館職員が新メンバーとして整備に参加するなど、花壇作りをきっかけに活動の種類も仲間の輪も広がっています。「花を通じて地域の絆は確実に強くなった」と菊池さん。「城花クラブ」の活動には日々感心していると話します。

周囲の応援も得ながら今後も地域との繋がりを深めていきたいという末吉さん。「花壇の維持は年齢を重ねてもできる仕事なので、これからも現状維持を第一に永く活動を続けたいですね」と笑顔で今後を語ってくれました。

「城花クラブ」の熱心な活動にはいつも感心しています。趣味のカメラを生かして花壇の移り変わりを公民館で紹介していますが、おかげで私も花に興味を持つようになりました。この花壇は、今や城浜地区の象徴になっており整備を続けることは大きな意味があります。これからも様々な形で応援していきたいです。

公民館長 菊池 勇さん



宮下 美恵子さん

たので参加しました。地域のバレーボールチームの活動も並行しての毎日は忙しいですが充実していますね。末吉さんとは何でも言い合える仲で、心強いパートナー。活動の苦勞も喜びも分かち合える人がいるのはありがたいことです。

もともと人のお世話をする事と、自宅で園芸を楽しむのが好きだったので



松尾 喜久子さん

城浜地区は、東区で最も高齢化の進む地域です。だからこそ、家の中にこもりがちな高齢者の方が少しでも出掛けたくなる公園でなければと思っています。それには美しい花壇づくりが欠かせません。四季の花々で皆さんの心を和ませ、住民同士をつなぐような空間であり続けられるよう、頑張りたいです。

## 緑の活動支援事業



市民の皆さんで結成された団体が自主的に取り組む緑化活動を育成・支援する事業です。緑の普及啓発、地域の環境改善、地域コミュニティづくりなどを目的としています。

### 地域の花づくり

市内にある公共用地や空地などにおいて花壇づくりを行う活動で、花壇などの面積が10㎡以上のもの。

助成金	認定後5年間/年間1㎡あたり2,000円 上限20万円
	認定後6年目以降/年間1㎡あたり1,000円 上限10万円

### 地域の森づくり

市内にある樹林地などの保全管理を行う活動で、活動区域の面積が300㎡以上のもの。

助成金	認定後5年間 上限20万円
	認定後6年目以降 上限10万円

問い合わせ (公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課 TEL 092-822-5832





# 第17回 花と緑のまちかど写真コンテスト 受賞作品発表

「まちかどの花や緑」をテーマに、平成12年から毎年開催しているコンテストです。福岡市内の公園や街路樹などを撮影した作品を通し、都市緑化について広く知っていただくことを目的としています。17回目となる今回は252点の応募がありました。入賞した作品22点をご紹介します。



舞鶴公園



## 「盛夏に咲く」 本田 優子

### 受賞者コメント

美術館経由のバスを利用したときは舞鶴公園内の花や木々を眺めながら季節を感じています。真夏日の暑い日に、睡蓮が2カ所の池で涼しげに、また鮮やかに咲いているのに気付きました。翌朝、カメラ持参で出かけました。青空も手伝ってくれて清らかな黄色い睡蓮の花が咲く風景が撮れました。



福岡市植物園

## 「楽しい遠足」 丸山 徳子



アイランドシティ

## 「夏の日」 福原 良一



アクロス福岡

## 「ビルのオアシス勢揃い」 荻原 敏彦



海の中道海浜公園

## 「夕陽に向かって行進」 藤井 利成



西岡市植物園

## 「万緑の国」 矢野 敬一



海の中道海浜公園

## 「冬あかり」 宮原 秀子



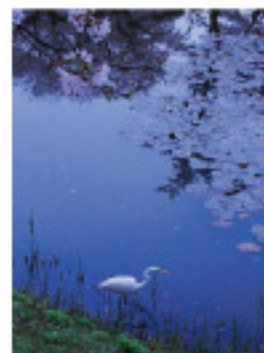
海の中道海浜公園

## 「瑠璃色に染まる」 高橋 春一



舞鶴公園

## 「五月の語らい」 石橋 れい子



舞鶴公園

## 「夕刻のお題」 高橋 るみ子



舞鶴公園

## 「美しい時」 押川 友明



海の中道海浜公園

## 「生長を頼って」 長島 秀彦



海の中道海浜公園

## 「コスモス日和」 関東 博子



舞鶴公園

## 「花いかだ」 川島 保子



東区市民会館

## 「春光浴びて」 渡辺 誠



シーサイドモール市民会館

## 「日盛り」 角 芳郎



舞鶴公園

## 「清波に彩る」 鹿島 和生



博多駅前

## 「星夜の博多駅前広場」 龍津 隆一郎



舞鶴公園

## 「お花見」 庄山 律子



舞鶴公園

## 「小雨の中で」 今津 盛一



舞鶴公園

## 「日本の春」 上村 真人



舞鶴公園

## 「新緑の名島門」 大瀧 洋彦

## 第18回 花と緑のまちかど写真コンテスト 大募集

花やみどりで彩られた福岡のまちかどをとらえたお気に入りの写真を送ってください。

**応募締切** 平成29年8月31日(木) 必着

**応募方法** 応募票に記入し、作品の裏面に貼付の上、郵送または持参してください。お一人3点まで応募できます。(応募票は協会ホームページからダウンロードできます。また、区役所、市民センターなどにも置いてあります)

**応募上の注意** (作 品) 平成28年9月1日から平成29年8月31日までの1年間に福岡市内の花と緑を題材とした未発表の写真が対象です。(サイズ) 四つ切り、ワイド四つ切り、A4 (著作権) 入賞作品の著作権は主催者に帰属します。賞に選ばれた場合は、原板やデータを提出していただきます。(肖像権) 人物が写っている場合、撮影の同意を得てください。肖像権等の承諾は応募者の責任とします。画像加工したものは応募できません。

くわしくは 協会ホームページ [www.midorimachi.jp](http://www.midorimachi.jp) 緑のまちづくり協会 検索  
問い合わせ (公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課 TEL 092-822-5832

平成29年度 緑化助成事業のご案内  
 緑のまちづくりを進めるため、

# 民有地緑化に助成します!

緑化助成事業は、緑あふれる街並の形成を目的として、道路から見える緑化の施工費用の一部を(公財)福岡市緑のまちづくり協会が助成する事業です。



## ■ 助成の対象

道路から見える緑化(単木、生垣、地被植物、駐車場緑化、壁面緑化)

道路境界から6m以内の場所に新たに行う緑化で、緑化面積が5㎡以上あること



## ■ 以下の条件を満たす方が助成を受けられます

- 福岡市内の民有地であること(販売等を目的とした緑化事業は対象外とします)。
- 申請時に未着工で同一年度内に完成するもの。
- 本助成事業以外の助成を受けていないこと。同一の敷地において、すでに本助成事業を受けていないこと。
- 法令等により緑化を義務づけられている場合は、その基準を超える部分の緑化を助成の対象とします。

## ■ 助成金額

道路境界から6mの範囲内の緑化施工費用の1/2に相当する金額を助成します(千円未満切り捨てとします)。

ただし1㎡あたり1万円を限度とします。

助成金の上限は20万円です(既存のものを流用する場合の材料費や、工事を申請者自らが行う場合の工事費は対象外とします)。

### 助成対象となる緑化施工費用

- ① 植物および土壌、肥料、支柱などの材料費
- ② 緑化工事費
- ③ 壁面緑化の誘引資材および灌水施設などの材料費およびその工事費
- ④ ①から③を対象とする諸経費

※詳細は、下記ホームページをご確認ください。 ※助成は予算の範囲内で先着順とします。(受付は4月3日(月)から)

問い合わせ 公益財団法人 福岡市緑のまちづくり協会 みどり課企画推進係

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-3-26 TEL 092-822-5832

ホームページ <http://www.midorimachi.jp>

## INFORMATION

### 福岡城さくらまつり

黒田官兵衛・長政父子が築城した福岡城跡では、約1,000本の桜が春の訪れを鮮やかに引き立てます。ライトアップされたさくらと城壁のコントラストは息をのむほどの美しさです。種類豊富なグルメ屋台や子どもも楽しめるアトラクションもあります。春の陽気に包まれた緑豊かな舞鶴公園でさくらを見ながらお散歩しませんか。



期間 平成29年 3月25日(土)~4月3日(月)

ライトアップ点灯式:平成29年3月25日(土)

※桜の開花状況、その他の状況により期間を変更する場合があります。

場所 国指定史跡「福岡城跡」(舞鶴公園)

インフォメーション開設時間 10時~22時

ライトアップ点灯時間 18時~22時 ※3月25日は19時~

### イベント



- ・スタンプラリー
- ・さくらボランティアガイド
- ・さくらグルメ屋台
- ・桜餅、多聞餅、御唐屋敷特別ライトアップ(入場料 各300円、3か所共通券 600円)
- ・さくらふれあい動物園
- ・アトラクションゾーン
- ・福岡城歴史的建造物特別公開

### 福博花しるべ

市民や企業の皆さんと一緒にまちなかを花でいっぱい!博多から天神、舞鶴公園までを色とりどりのチューリップで結ぶ「福博花しるべ」。天神の警固公園ではガーデニングショー、キャナルシティ博多近くの清流公園ではフラワーライトアップなどを開催。この春は福博のまちなかを、見て・歩いて・楽しんでください。

### イベント概要



- ・市民団体、企業、大学生や子どもたちによる花壇展示
- ・市民参加の花壇コンテスト
- ・ハンギングバスケットコンテスト
- ・フラワーカフェ
- ・グリーンマルシェ など

### チューリップロード

見頃 平成29年 3月下旬~4月中旬

場所 博多~天神~舞鶴公園を結ぶ約4.0km



### 警固公園ガーデニングショー

期間 平成29年 4月1日(土)~4月9日(日) 10時~21時(予定)

内容 市民や企業の皆さんが作った花壇が会場を彩ります。花や緑の雑貨の販売や体験講座などもあります。

### 清流公園フラワーフェスティバル

期間 ①ライトアップ:平成29年 4月1日(土)~4月9日(日) 18時~22時

②千一夜市:平成29年 4月1日(土)、2日(日)、8日(土)、9日(日) 16時~22時

内容 那珂川沿いのチューリップをライトアップし、週末には千一夜市を同時開催し、飲食ブースや手作り雑貨などが出展します。



福岡のまちを花とみどりでいっぱい  
～皆さまのご支援は福岡市の緑化推進に役立っています～

都市緑化基金へのご寄付ありがとうございます

コカ・コーラウエスト株式会社



片江市民緑地グリーンメイトの会  
(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会 九州支部  
九大病院馬出フラワーボランティア

みどりちかまる 舞鶴公園フラワーボランティア  
NPO法人 緑のキャラバン隊 ふくおか花と緑の連絡会  
西日本短期大学 緑地環境学科 水と緑の楽校

(平成28年2月1日—平成29年1月31日の間に寄付いただいた企業・団体、個人、各社様)

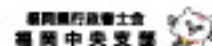
福岡市都市緑化基金のしくみ 寄付金の税額控除が適用されます

(公財)福岡市緑のまちづくり協会が運営母体となり、市民や民間企業等の皆さまからいただいた寄付金を積み立て、その運用益などを利用して都市の緑化をすすめる基金です。



スポンサー花壇へのご協賛ありがとうございます

熊谷京子  
元 クマリフト株式会社



<スポンサー花壇>福岡市が企業や市民の皆さまからいただいた協賛金で、天神や博多の福岡市都心部におもてなしの花壇を設置しています。

都市緑化基金やスポンサー花壇に関する問い合わせ  
(公財) 福岡市緑のまちづくり協会 みどり課 TEL 092-822-5832

ぐるぐる Vol.12  
グリッピ

福岡市花と緑のマスコットキャラクターグリッピのお話

糖かしの友達と再会の巻



協会本部事務所



〒814-0001 福岡市早良区百道浜 2-3-26  
福岡タワーセンタービル 2F  
TEL 092-822-5832 FAX 092-822-5848

東平尾公園管理事務所



〒812-0852 福岡市早良区東平尾公園2-1-2  
(陸上競技場入口)  
TEL 092-611-1515 FAX 092-611-8968

舞鶴公園管理事務所



〒810-0043 福岡市中央区城内 1-4  
(陸上競技場入口)  
TEL 092-781-2153 FAX 092-715-7590



公益財団法人 福岡市緑のまちづくり協会  
Fukuoka City Greenery Association

www.midorimachi.jp

緑のまちづくり協会 検索

